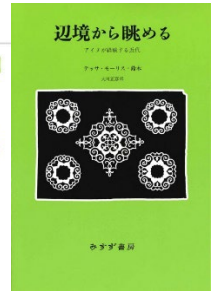


国際社会学部

政治学（原論・政治理論）

Politics/ Political Theory



どのような学問か

人間にとって政治とはどのような営みか。このことは、現実の政治という営みについての観察から歴史的にも、思想的にもさまざまに論じられてきました。政治思想史と呼ばれる学問分野で圧倒的な量の蓄積があります。とはいえ、20世紀、そして21世紀の諸現実をふまえるなら、政治にとって人間とはいかなる存在か。このこともまた、政治学という学的営みにとっては枢要な問いであるようにおもわれます。そのうえで、〈生存と共生〉をめぐる政治（／非政治）と人間（／非-人間）とのかかわり、かかわらなさ、に足場をおきなおして、政治、政治学を問いなおす営みが、いま・ここでの政治学原論・政治理論の役割だ、と言ってみたくおもいます。

外大の政治理論

目の前の、あるいは過去の政治的／社会的事象の理解を深めてゆくこと、そのことをとおして自己理解を刷新・更新してゆくこと。ときによったら、いままでの理解ナルモノをすっかり手放し捨ててしまうこと。それは己の心身を解-体することに等しいかもしれません。このようにみるなら、政治理論のレッスンで大切になってくるのは、いわゆる西洋政治理論あるいは戦後日本政治学のさまざまをそのまま模範解答のように覚えることではなく、そのすぐれた思索にはふれつつも、同時にまた、とりわけこの国における政治や社会をつくってきた（あるいは、つくってきたことが忘れ去られてしまっている）さまざまな運動、思想、問題感覚——成功ばかりではなく、その挫折、失敗もふくめて——を掘り起こしながら、いま・ここでの政治理論を各人が各様に紡いでゆくことです。ですから、あなたじしんの〈生きる場〉で、あなたじしんがあたまやからだを硬直させるのではなく、伸びやかに生きてゆけるヴィジョンと展望に裏付けられた、あなたならではの政治理論をかたちづくっていただけたら、とてもうれしくおもいます。大学という場を離れてからこそその本領が問われる糧を培ってほしいです。

2023年度は、政治学の隣接分野のひとつ社会倫理学に携わるかた、そして環境倫理学の草分け的存在にあたるかたの胸を借りながら他流試合も試みます。現代世界論コース導入科目の原論では、春学期には、〈共に生きること〉をめぐる倫理と政治、秋学期には、倫理と環境正義。そして、専門科目の政治理論では、春学期に、ケアの倫理と政治理論、秋学期には、森崎和江とフェミニズム。あなたも、外大で政治理論をともにかたちづくってゆく作業に加わってみませんか。素敵な挑発（Not Instruction, but Provocation; by Ralph W. Emerson）は大歓迎です。

関連する授業一覧（2023年度）

大川正彦

- 「政治社会論入門：〈共に生きること〉をめぐる倫理と政治」（春学期）
- 「政治社会論入門：倫理と環境正義」（秋学期）
- 「政治理論1：ケアの倫理と政治理論」（春学期）
- 「政治理論2：森崎和江とフェミニズム」（秋学期）

ゼミ

- 大川正彦
政治理論演習（通称：いのち論ゼミ）

関連する学問分野

- 哲学・倫理学
- 社会学
- 文化人類学
- グローバル・スタディーズ
- 歴史学

おススメの本

- 花崎皋平『生きる場の哲学——共感からの出発——』岩波新書、1981年
- 柳父章『翻訳語成立事情』岩波新書、1982年
- 内田義彦『社会認識の歩み』岩波新書、1971年
- 成沢光『政治のことば——意味の歴史をめぐって』講談社学術文庫、2012年
- なだいなだ『権威と権力』岩波新書、1974年